

学校だより 12月号



赤見台第一小学校 令和4年11月30日(水)
鴻巣市赤見台4-19-1 TEL 048-596-1688
<https://aka1-e-konosu.edumap.jp> FAX 048-597-0265

赤見っ子

学校教育目標

(あ) 明るいい心で 助け合う子
(か) 体も心も たくましい子
(み) 自ら学ぶ かしこい子

～テキパキにここに赤見っ子～

言葉の力

校長 大澤 紀子

校庭の木々も葉が赤や黄色に色づき、風に舞い落ち、冬の到来を感じる季節になりました。2022年も残り1ヵ月となりました。1年を振り返り、新しい年へとつなげていけるような12月にしていきたいです。

さて、私が最近の子供たちの様子で気になることの一つに「言葉」があります。そこで、12月の全校朝会では、「言葉について」の話をしました。

私が使っている日めくりカレンダーには、「たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心をあたためる。」という言葉があります。人は誰でも、「言葉」に救われたり温かい気持ちになったりした経験があると思います。でも、人を傷つけたり悲しませたりするのが「言葉」であるのも確かです。子供たちは、そして、私たちは普段どんな言葉をつかっているでしょう。

私が子供たちにお願いしたいことは、次の3つです。

①正しい言葉、気持ちの良い言葉をつかいましょう

自分の考えをしっかりと伝えられていますか。単語を発するだけで終わってしまい、「～です。」「～だと思います。」までしっかり話せない子が多いです。ひざをけがして保健室に来て、「どうしたの?」と聞いても「ひざ・・・」としか言わない子もいます。大人はそれで何が言いたいのかを察することはできますが、それでは自分の状況は相手には伝わりません。正しい言葉で伝える、そして、聞いた人が気持ちの良い言葉遣い、場に合った言葉遣いができるようになってほしいです。

②相手の気持ちを考えて言葉をつかいましょう

あなたが発した言葉は、相手の気持ちを考えていますか。聞いた人が傷ついてしまうような、悲しくなるような言葉をつかうのではなく、相手を励まし、温かい気持ちになる言葉がたくさんつかえるといいと思います。言葉は、話している相手だけではなく、あなたの周りで聞いている人へも影響を与えます。周りの人のことも考えて言葉をつかえるとみんなが気持ちよく生活できます。

③言葉の数や種類を増やしましょう

言葉の数や種類のことを語彙といいます。あなたはそれをどのくらいもっていますか。どんな時も「やばい」と「すごい」で済ませてしまう人はいませんか。日本語には気持ちや様子を表す言葉がたくさんあります。言葉をたくさん知っていると自分の考えをわかりやすく相手に伝えられます。豊かな語彙をもって豊かな表現ができると素晴らしいです。

子供たちには、普段何気なく使っている言葉のもつ力について考え、どんな言葉を使ったらいいのかを考える機会にしてほしいと思っています。

12月4日～10日は『人権週間』です。一人一人が大事にされ、温かい言葉がたくさん聞かれる赤一小にしていきたいと考えています。

